

－ 生活と福祉に関するアンケート ご協力をお願い －

日ごろより、練馬区の障害福祉行政の推進につきまして、ご理解、ご協力をいただき、厚く御礼申しあげます。

平成25年に施行された障害者総合支援法により、難病患者の方々も福祉サービスを利用できるようになりました。そこで、日常生活の状況や福祉サービスへのご意見等をお聞かせいただき、現在策定作業を進めている「練馬区障害者計画・第八期障害福祉計画・第四期障害児福祉計画」に皆さまのご意見を反映させることが重要であると考え、このたびアンケート調査を実施することとしました。(現計画書は、区役所障害者施策推進課および図書館、区民情報ひろば、区ホームページ等で閲覧できます。)

この調査は、区内にお住まいの難病医療費助成制度を申請されている方を無作為に抽出し、対象としています。なお、調査は無記名であり、結果については統計的に処理しますので、個人的にご迷惑をおかけすることはありません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、このアンケート調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願い申し上げます。

練馬区

《アンケートの回答にあたって》

- このアンケートおよび返信用封筒には、お名前・ご住所を書く必要はありません。
- このアンケートは、封筒のあて名ご本人に回答していただくものです。ただし、ご本人が回答することが困難な場合などには、ご家族や身近な方がご本人の意見を聞きながら回答していただきますようお願いいたします。
- 答えたくない質問については、無理に答える必要はありません。
- 回答は、紙の調査票(本紙)に直接記入する方法と、オンラインで回答する方法の2種類からいずれかを選択してください。具体的な回答方法は裏面に記載しています。
- 令和8年2月10日(火)までに、ご回答ください。

[アンケート調査に関するお問い合わせ先]

株式会社日本能率協会総合研究所 アンケート担当

電話：0120-344-343(フリーダイヤル)

受付時間：9時～12時、13時～17時

(1月13日(火)～2月10日(火)までのいずれも平日)

FAX：03-3432-1837

メール：h_policy@jmar.co.jp

[調査の実施主体]

練馬区 福祉部 障害者施策推進課 事業計画係

電話：03-5984-4602

《回答方法》

回答方法は、紙の調査票に直接記入する方法と、オンラインで回答する方法の2種類から、いずれかを選択してください。(両方回答する必要はありません)。

調査票に直接記入する方

①濃い鉛筆または黒のボールペンでこの調査票に直接書き込む。

- 回答は、あてはまる番号に○をつけてください。質問文にある「○は1つ」「あてはまるものすべてに○」などの指示にしたがってご回答ください。また、ご意見や数字などを直接ご記入いただく質問もあります。
- 質問の回答が、「その他」にあてはまる場合は、()内になるべく具体的にその内容をご回答ください。
- 質問によっては、ある条件にあてはまる方だけにお答えをお願いするものがあります。



②同封の返信用封筒に入れてポストに投函(切手は不要)

- ご記入いただきましたら、令和8年2月10日(火)までに、同封の返信用封筒にてご返送ください。切手は不要ですので、そのままご投函ください。

オンラインで回答する方

①オンライン回答ホームページを開く

- お手持ちのパソコンやスマートフォン等で下記の URL を入力いただくか、あるいは二次元コードを読み取ってください。

URL:<https://rdc.dstyleweb.com/ycgt/gccph4/>



②ID・パスワードを入力する

※ID、パスワードは、ランダムに振り分けられており、個人の特定はできませんので安心してご回答ください。

ID:

パスワード:



③回答する

- 回答は、あてはまる選択肢のチェックボックスをクリックしてください。質問文にある「○は1つ」「あてはまるものすべてに○」などの指示にしたがってご回答ください。また、ご意見や数字などを直接入力いただく質問もあります。
- 質問の回答が、「その他」にあてはまる場合は、()内になるべく具体的にその内容を入力してください。
- 質問によっては、ある条件にあてはまる方だけにお答えをお願いするものがあります。
- 最後の回答画面で「送信する」をクリックすると回答完了です。
令和8年2月10日(火)までに、回答を完了してください。

■ あなた（あて名の方ご本人）のことに ついて ■

問1 あなたの性別と年齢をお答えください。

なお、回答しにくいと感じる場合は、回答いただかなくて結構です。

性別 年齢 歳

問2 この調査票はどなたが記入されますか。(○は1つ)

- 1 本人が自分一人で記入
- 2 本人に聞いて家族や介助者が代筆
- 3 本人の意向を考えながら家族や介助者が記入

問3 現在、あなたはどこで暮らしていますか。(○は1つ)

- 1 自分の持ち家(購入マンションも含む)
- 2 親など家族の持ち家(購入マンションも含む)
- 3 公営住宅
- 4 アパート、賃貸マンション、借家
- 5 グループホーム、ケアホーム
- 6 社宅、会社の寮
- 7 福祉施設
- 8 病院に入院している
- 9 その他()

【問3-1は、問3で「4 アパート、賃貸マンション、借家」と回答した方におたずねします。】

問3-1 アパート、賃貸マンション、借家を探す際に、大変だったことや困ったことはありましたか。(○はいくつでも)

- 1 障害があることを理由に入居を断られた
- 2 バリアフリーに対応している物件が見つからなかった
- 3 保証人や支援者の有無を問われて困った
- 4 不動産会社や大家とのやりとりに不安があった
- 5 希望する地域に物件がなかった
- 6 家賃が高くて選択肢が限られた
- 7 情報が少なく、どこに相談すればよいかわからなかった
- 8 特に困ったことはなかった
- 9 その他()

問4 現在、あなたと一緒に暮らしている人はどなたですか。(○はいくつでも)

- 1 自分一人だけで暮らしている
- 2 配偶者(夫、妻)またはパートナー(事実婚を含む)
- 3 息子、娘(息子または娘の配偶者も含む)
- 4 父、母
- 5 祖父、祖母
- 6 兄弟、姉妹
- 7 その他()
- 8 グループホーム等での集団生活

問5 あなたご本人の収入源は何ですか。(○はいくつでも)

- 1 就労による収入
- 2 年金・手当
- 4 家族などからの仕送り

3 生活保護費	5 その他()
	6 収入はない

問6 あなたの世帯の、主な生計維持者(もっとも収入が多い方)はどなたですか。(○は1つ)

※「3父」「4母」とお答えの場合には、年齢(令和7年12月1日現在)をご記入ください。

1 あなたご本人	5 子
2 あなたの配偶者(夫、妻)またはパートナー (事実婚を含む)	6 祖父・祖母
3 父 → <input type="text"/> 歳	7 兄弟・姉妹
4 母 → <input type="text"/> 歳	8 その他()

問7 現在罹患している主な難病の疾病名を2つまでご記入ください。

	疾病名
1	
2	

問8 問7で回答した難病の発症年齢と、医療費助成を初めて申請した年齢を記入してください。

	発症年齢	医療費助成
1	歳頃	歳頃
2	歳頃	歳頃

問9 あなたは、以下の手帳をお持ちですか。お持ちの方は等級にも○をつけてください。

(○はいくつでも)

1 身体障害者手帳	→ (1級 2級 3級 4級 5級 6級)
2 愛の手帳	→ (1度 2度 3度 4度)
3 精神障害者保健福祉手帳	→ (1級 2級 3級)
4 これらの手帳は持っていない	

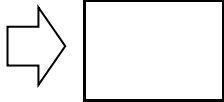
→【問10は、「1 身体障害者手帳」をお持ちの方におたずねします。】

問10 身体障害者手帳に記載されている障害は次のどれですか。あてはまる障害の番号を「1番目」の欄に記入してください。障害の種類が2つ以上記載されている場合は、記載の順番にしたがって「1番目」と「2番目」を記入してください。

1 視覚障害
2 聴覚障害
3 平衡機能障害
4 音声機能・言語機能・そしゃく機能の障害
5 肢体不自由 (上肢、下肢、乳幼児期以前の非進行性の脳病変による運動機能障害)

➔	1番目
	<input type="text"/>
	2番目

- 6 肢体不自由(体幹)
- 7 心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう、直腸、小腸、肝機能、免疫の機能の障害
- 8 その他()



問 11 あなたは、障害支援区分の認定を受けていますか。

認定を受けている方は、現在の区分にも○をつけてください。(○は1つ)

- 1 受けている →(区分1 区分2 区分3 区分4 区分5 区分6)
- 2 受けていない

問 12 あなたは現在、日常生活をおくるために、医療的ケアを必要としていますか。

(○は1つ)

- 1 必要
- 2 必要ではない → 問 13 へ進む

【問 12-1、問 12-2 は、問 12 で「1 必要」と回答した方におたずねします。】

→問 12-1 どのような医療的ケアが必要ですか。(○はいくつでも)

- 1 経管栄養(経管胃管、胃ろう、腸ろう等)
- 2 たん等の吸引
- 3 吸入
- 4 気管カニューレ
- 5 導尿
- 6 人工呼吸器
- 7 気管切開
- 8 皮下注射(インスリン、麻薬等含)
- 9 血糖測定
- 10 その他()

→問 12-2 介助者が不在の時などの短期入所(ショートステイ)の利用状況についておたずねします。(○はいくつでも)

- 1 区内の短期入所(ショートステイ)を利用している
- 2 区外の短期入所(ショートステイ)を利用している
- 3 利用したいが医療的ケアに対応できる施設が近くにない
- 4 親族や友人等で対応できるため、利用の必要がない
- 5 その他()

■ 介助・援助の状況について ■

【すべての方におたずねします。】

問 13 ふだん、あなたを介助・援助しているのはどなたですか。(○はいくつでも)

- | | |
|----------------------------|-----------------------|
| 1 とくに介助等は受けていない → 問 14 へ進む | |
| 2 配偶者(夫、妻)またはパートナー(事実婚を含む) | 7 行政の職員(ワーカー・保健師等) |
| 3 父、母 | 8 病院の職員(看護師・精神保健福祉士等) |
| 4 息子、娘(息子、娘の配偶者も含む) | 9 施設の職員 |
| 5 祖父、祖母 | 10 訪問看護師 |
| 6 兄弟、姉妹 | 11 ホームヘルパー |
| | 12 その他() |

【問 13-1 は、問 13 で「2 配偶者(夫、妻)またはパートナー(事実婚を含む)」～「12 その他」と回答した方におたずねします。】

→ 問 13-1 最も長く介助・援助している人はどなたですか。(○は1つ)

- | | | |
|----------------------------|-----------------------|--------------|
| 1 配偶者(夫、妻)またはパートナー(事実婚を含む) | 6 行政の職員(ワーカー・保健師等) | } 問 13-2 へ進む |
| 2 父、母 | 7 病院の職員(看護師・精神保健福祉士等) | |
| 3 息子、娘(息子、娘の配偶者も含む) | 8 施設の職員 | |
| 4 祖父、祖母 | 9 訪問看護師 | |
| 5 兄弟、姉妹 | 10 ホームヘルパー | |
| | 11 その他() | |

【問 13-1-1、問 13-1-2 は、問 13-1 で「1 配偶者(夫、妻)またはパートナー(事実婚を含む)」～「5 兄弟、姉妹」と回答した方におたずねします。】

→ 問 13-1-1 最も長く介助・援助している人の年齢をお答えください。

年齢 歳

→ 問 13-1-2 最も長く介助・援助している人の介護保険制度の要支援または要介護の認定状況をお答えください。(○は1つ)

- | | | |
|-------------------|--------|--------|
| 1 認定は受けていない | 4 要支援2 | 7 要介護3 |
| 2 総合事業対象者(要支援を除く) | 5 要介護1 | 8 要介護4 |
| 3 要支援1 | 6 要介護2 | 9 要介護5 |

【次は問 13-2 へ進んでください。】

→ 問 13-2、問 13-3 へ進む

■ 日中の過ごし方について ■

【すべての方におたずねします。】

問 15 あなたは、平日の昼間、主にどこで（何をして）過ごしていますか。（○は1つ）

1 学校などに通っている → 問 16 へ進む	} → 問 24 へ 進む
2 働いている → 問 18 へ進む	
3 病院や施設で療養している	
4 障害者地域生活支援センター（きらら、すてっぷ、ういんぐ、さくら）を利用している	
5 介護保険のデイサービスを利用している	
6 自宅で療養している	
7 その他（	

■ 教育について ■

【問 16、問 17 は、問 15 で「1 学校などに通っている」と回答した方におたずねします。】

問 16 主たる通学先はどこですか。（○は1つ）

1 特別支援学校	3 通常の学級	5 職業訓練校
2 特別支援学級	4 高等学校	6 専門学校・大学
		7 その他
		()

問 17 学校などに通っていて、困っていることはありますか。（○はいくつでも）

1 通いづらい (送迎が難しい、交通機関が使いづらいなど)	7 授業などで特性に合った配慮をしてくれない(座席配置やデジタル機器の活用など)
2 施設や設備が使いづらい (バリアフリーが不十分など)	8 先生が障害を理解してくれない
3 読み書きや計算など学習面で困っている	9 友達が障害を理解してくれない
4 忘れ物が多い	10 放課後の居場所が少ない
5 授業に集中できない	11 夏休みなど長期休みの際の取組が少ない
6 集団行動や話し合いなどへの参加が難しい	12 その他
	()
	13 特に困っていることはない

【次は問 24 へ進んでください。】

■ 雇用・就労について ■

【問 18～問 23 は、問 15 で「2 働いている」と回答した方におたずねします。】

問 18 現在の仕事は、どこから紹介を受けましたか。(○はいくつでも)

- | | |
|----------------|----------------------|
| 1 ハローワーク | 6 就労移行支援等の福祉サービス事業所 |
| 2 求人誌・ホームページ | 7 就労支援センター(レインボーワーク) |
| 3 特別支援学校 | 8 友人・知人 |
| 4 高等学校・専門学校・大学 | 9 総合福祉事務所・保健相談所 |
| 5 職業訓練校 | 10 その他() |

問 19 仕事の形態は次のうちどれですか。(○は1つ)

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1 自営業 | 5 内職 |
| 2 家業の手伝い | 6 就労移行支援・就労継続支援事業所 |
| 3 会社・団体等の正規職員 | 7 その他 |
| 4 非正規職員(契約、パート、派遣等) | () |

問 20 仕事の内容は次のうちどれですか。(○は1つ)

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1 管理的業務 | 9 サービスの業務 |
| 2 研究・技術の業務 | 10 警備・保安の業務 |
| 3 法務・経営・文化芸術等の専門的業務 | 11 農林漁業の業務 |
| 4 医療・看護・保健の業務 | 12 製造・修理・塗装・製図等の業務 |
| 5 保育・教育の業務 | 13 配送・輸送・機械運転の業務 |
| 6 事務的業務 | 14 建築・土木・電気工業の業務 |
| 7 販売・営業の業務 | 15 運搬・清掃・包装・選別等の業務 |
| 8 福祉・介護の業務 | 16 その他() |

問 21 あなたの職場はどこにありますか。(○は1つ)

- | | |
|----------------|-----------------------------|
| 1 練馬区内 | 5 自宅や職場外で仕事をしている
(テレワーク) |
| 2 23区内(練馬区を除く) | 6 自宅で仕事している(自営業) |
| 3 東京都内(23区外) | |
| 4 東京都外 | |

問 22 仕事で得た収入は1年にどれくらいですか(給与・賃金など)。(○は1つ)

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1 2万円未満 | 6 100万円～300万円未満 |
| 2 2万円～5万円未満 | 7 300万円～500万円未満 |
| 3 5万円～20万円未満 | 8 500万円～700万円未満 |
| 4 20万円～50万円未満 | 9 700万円以上 |
| 5 50万円～100万円未満 | 10 収入はない |

問 23 仕事をする上で不安や不満がありますか。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------|--------------------------|
| 1 収入が少ない | 9 職場での身分が不安定 |
| 2 仕事が難しい | 10 職場の施設・設備が病状に十分対応していない |
| 3 仕事が体力的にきつい | 11 昇給や昇進が平等ではない |
| 4 自分にあった内容の仕事がない | 12 通勤が大変 |
| 5 1日の就労時間が長い | 13 食事やトイレの介助が必要 |
| 6 1週間の就労日数が多い | 14 その他 |
| 7 難病への理解が足りない | () |
| 8 人間関係が苦手 | 15 特に不安や不満はない |

【すべての方におたずねします。】

問 24 あなたは、難病患者の方が働くためにはどのような環境が整っていることが大切だと思いますか。(○はいくつでも)

- | |
|---|
| 1 自分の家の近くに働く場があること |
| 2 自分の家の中で、通勤することなく働けること |
| 3 健康状態にあわせた働き方ができること |
| 4 難病患者の方の健康状態にあった仕事を用意されること |
| 5 就労支援機関(レインボーワーク、就労移行支援事業所等)が充実していること |
| 6 生活支援・余暇支援が充実していること |
| 7 事業主や職場の人たちが、難病の方の雇用について十分理解していること |
| 8 職場の施設や設備が難病の方にも利用しやすいように配慮されていること(バリアフリー設備が整っていることなど) |
| 9 ジョブコーチ*の支援を受けながら働けること |
| 10 同じような健康状態の方と一緒に、あるいは交替で働けること |
| 11 在宅テレワークの環境を整えるなどICT*を活用できるようにすること |
| 12 通勤の同行や業務中の食事・トイレの介助が受けられるようにすること |
| 13 その他() |
| 14 わからない |

※ ジョブコーチ:企業就労や企業で働き続けるために、障害者と企業との間に入って支援する人

※ ICT:情報や通信に関する技術の総称

■ 外出や社会参加の状況について ■

問 25 外出する際に利用する手段を教えてください。(○はいくつでも)

- | | |
|--------------|----------------|
| 1 徒歩 | 6 家族などが運転する自動車 |
| 2 車椅子 | 7 バス |
| 3 自転車 | 8 電車 |
| 4 バイク、スクーター | 9 タクシー |
| 5 自分で運転する自動車 | 10 その他() |

問 26 外出の際に困っていることがありますか。(○はいくつでも)

- | |
|-----------------------------------|
| 1 付き添ってくれる人がいない |
| 2 他人との会話が難しい |
| 3 他人の視線が気になる |
| 4 必要なときに、周りの人の手助け・配慮が足りない |
| 5 歩道が狭く、放置自転車などの障害物が多いなど、歩道が歩きにくい |
| 6 建物などに段差が多く、利用しにくい |
| 7 車を駐車するところがない |
| 8 気軽に利用できる移動手段が少ない |
| 9 電車やバスなどが利用しづらい |
| 10 障害者用トイレ(オストメイト対応、大人用ベッド含む)が少ない |
| 11 その他() |
| 12 特に困っていることはない |

問 27 これから先、平日昼間の活動が終わった後や休日に、どのようなことをして過ごしたいですか。(○はいくつでも)

- | |
|--------------------------------|
| 1 障害者地域生活支援センターの講座やプログラムに参加したい |
| 2 地区区民館や図書館などの区立施設で過ごしたい |
| 3 体育施設などでスポーツ(ボッチャ、水泳など)をしたい |
| 4 文化芸術活動(絵画、音楽など)をしたい |
| 5 趣味や学習、サークル活動をしたい |
| 6 地域の行事やお祭りに参加したい |
| 7 旅行に行きたい |
| 8 ボランティア活動をしたい |
| 9 難病団体・患者会の活動をしたい |
| 10 買い物や散歩などに出かけたい |
| 11 日中通っている福祉施設で利用時間を延長して過ごしたい |
| 12 自宅で過ごしたい |
| 13 その他() |
| 14 特に希望はない |

問 28 あなたは、問 27 のような過ごし方をするためにはどのような支援が必要だと思いますか。(○はいくつでも)

- | | |
|----------------------|-------------------------|
| 1 活動についての情報が提供されること | 6 適切な指導者がいること |
| 2 一緒に行く仲間がいること | 7 難病患者の方に配慮した施設や設備があること |
| 3 活動する場所が近くにあること | 8 介助者・援助者がいること |
| 4 外出のための手段が確保されていること | 9 その他() |
| 5 難病患者の方にあった対応があること | 10 特にない |

■ 健康状況や医療について ■

問 29 難病疾病で、主となる（最も頻度の高い）受療状況を教えてください。(○は1つ)

- | |
|--------------------|
| 1 通院している |
| 2 訪問診療(往診)してもらっている |
| 3 入院している |
| 4 入院・通院していない |

問 30 難病疾病での入院歴はありますか。ある場合は入院期間にも○をしてください。(○は1つ)

- | |
|--|
| 1 ない |
| 2 ある → (3か月未満 3か月～1年未満 1年～3年未満 3年以上) |

【問 31 は、通院している方におたずねします。】

問 31 通院する際の介助は必要ですか。(○は1つ)

- | | |
|-----------|---------------|
| 1 介助は必要ない | 2 付添いなどの介助が必要 |
|-----------|---------------|

問 32 健康管理や医療について、困ったり不便に感じたことはありますか。(○はいくつでも)

- | |
|----------------------------------|
| 1 特に困っていることはない |
| 2 近所に診てくれる医師がいない |
| 3 専門的な治療を行う医療機関がない |
| 4 医療的ケアや重症心身障害があることで、診てくれる医師がいない |
| 5 通院や健康診査のときに付き添いがいない |
| 6 往診を頼める医師がいない |
| 7 定期的に健康診査を受けられない |
| 8 医療機関とのコミュニケーションがとれない |
| 9 症状が正確に伝わらず、必要な治療を受けられない |
| 10 受診手続きなど、難病の方への配慮が不十分 |
| 11 医療機関の建物が難病患者の方に配慮した構造になっていない |
| 12 医療費の負担が大きい |
| 13 休日・夜間の相談や治療をしてくれる医療機関が少ない |
| 14 その他() |

■ 相談や情報の入手について ■

問 33 あなたは、悩みごとや心配ごとがあるとき、家族や親せき以外にどのようなところに相談していますか。(○はいくつでも)

- | | |
|--|--|
| 1 総合福祉事務所 | 13 病院・診療所 |
| 2 保健相談所 | 14 学校・職場 |
| 3 障害者地域生活支援センター
(きらら・すてっぷ・ういんぐ・さくら) | 15 障害者団体 |
| 4 権利擁護センター ほっとサポートねりま | 16 友人・知人 |
| 5 民生委員・児童委員 | 17 ホームヘルパー |
| 6 難病情報センター | 18 インターネットの掲示板(民間サイト)など |
| 7 児童相談所 | 19 SNS※(X(旧 Twitter)、Facebook、
YouTube、Instagram、LINE など) |
| 8 福祉施設 | 20 対話型 AI※(ChatGPT など) |
| 9 相談支援事業所 | 21 その他() |
| 10 こども発達支援センター | 22 相談できるところはない |
| 11 学校教育支援センター | 23 相談の必要はない |
| 12 子ども家庭支援センター | |

※ SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)とは、X(エックス)(旧 Twitter)や Facebook(フェイスブック)等インターネットを介して友人・知人など利用者同士で情報発信・やりとりができるサービスです。

※ 対話型 AIとは、人間と自然な会話をすることを目的とした人工知能のことです。

問 34 福祉サービスなどの情報をどこから得ていますか。(○はいくつでも)

- | | |
|---|--------------|
| 1 ねりま区報 | 10 学校、職場、施設 |
| 2 区のホームページ | 11 病院・診療所 |
| 3 インターネットのサイト(区のホームページ以外) | 12 相談支援事業所 |
| 4 練馬区公式 SNS(X(旧 Twitter)、
Facebook、YouTube、Instagram、
LINE) | 13 民生委員・児童委員 |
| 5 SNS(練馬区公式 SNS 以外) | 14 障害者団体 |
| 6 対話型 AI(ChatGPT など) | 15 家族・親せき |
| 7 区の障害者福祉のしおり | 16 友人・知人 |
| 8 総合福祉事務所・保健相談所 | 17 その他() |
| 9 障害者地域生活支援センター
(きらら・すてっぷ・ういんぐ・さくら) | 18 わからない |

問 35 日常生活に必要な情報を得る際に、あなたはパソコンなどの情報通信機器（ICT 機器）をどの程度利用していますか。（それぞれ○は1つ）

①パソコン……………	1 よく使う	2 まあ使う	3 使わない	4 持っていない
②スマートフォン……………	1 よく使う	2 まあ使う	3 使わない	4 持っていない
③タブレット型端末……………	1 よく使う	2 まあ使う	3 使わない	4 持っていない
④その他()……………	1 よく使う	2 まあ使う	3 使わない	4 持っていない

問 36 あなたは、ふだん周囲の方々とのコミュニケーションのために、どのような手段・機器等を利用していますか。（○はいくつでも）

1 パソコンのメール	8 補聴機器(補聴器・人工内耳など)
2 携帯/スマートフォンのメール・SNS	9 点字
3 電話(固定・携帯/スマートフォン)	10 触手話・指点字
4 携帯用会話補助装置※やスマートフォンなどのコミュニケーション支援アプリ	11 意志伝達装置
5 手話・手話通訳	12 文字盤
6 読話	13 コミュニケーションボード
7 筆談・要約筆記	14 その他()
	15 特に使用している機器はない

※ 携帯用会話補助装置とは、言葉を音声または文章に変換する、または言語を拡声する機能を有する携帯式機器(携帯端末等で利用するためのアプリケーションソフトを含む。)

問 37 円滑なコミュニケーションの実現や情報入手のために、どのようなことを充実するとよいと思いますか。（○はいくつでも）

1 点字による情報提供を増やす
2 音声による情報提供を増やす
3 パソコン/携帯メール・SNS による情報提供を増やす
4 手話通訳・要約筆記を充実する
5 公共施設の案内・誘導をわかりやすくする
6 電光掲示板や自動販売機など字幕による情報提供を増やす
7 コミュニケーション支援機器の種類・使い方についての情報提供や相談の機会を増やす
8 コミュニケーションを支援する人を増やす
9 スマートフォンなどのアプリ
10 その他()
11 特にない

■ 福祉サービスについて ■

問 38 あなたは、この1年くらいの間に次のサービスを利用したことがありますか。(○はいくつでも)

- | | |
|----|-----------------------|
| 1 | ホームヘルプなどの訪問系サービス |
| 2 | 訪問看護などの医療系サービス |
| 3 | 短期入所(ショートステイ)・緊急一時保護 |
| 4 | 補装具費の支給・修理 |
| 5 | 日常生活用具の給付・レンタル |
| 6 | 住宅設備改善費の給付 |
| 7 | 福祉タクシー券の交付、自動車燃料費の助成等 |
| 8 | 移動支援・同行援護 |
| 9 | 訪問入浴サービスなどの入浴サービス |
| 10 | グループホームなどの居住系サービス |
| 11 | 日中一時支援 |
| 12 | 手話通訳者・要約筆記者の派遣 |
| 13 | 介護保険のサービス |
| 14 | その他() |
| 15 | 1～13のサービスを利用したことがない |

問 39 あなたは、現在必要だと思うサービスを十分利用していますか。(○は1つ)

- | | | |
|---|------------------|--------------|
| 1 | 十分利用している | } → 問 40 へ進む |
| 2 | 十分ではないが、ほぼ利用している | |
| 3 | あまり利用していない | } → 問 40 へ進む |
| 4 | その他() | |
| 5 | わからない | |
| 6 | サービスを利用する必要がない | |

→【問 39 で「あまり利用していない」と回答した方におたずねします。】

問 39-1 必要だと思うサービスを「あまり利用していない」理由は何ですか。

(○はいくつでも)

- | | | | |
|---|----------------------|----|--------------------|
| 1 | 自己負担が大きいから | 6 | 個別のニーズに対応できないから |
| 2 | 支給要件に該当しないから | 7 | サービスに空きがなく利用できないから |
| 3 | 必要とするサービスがないから | 8 | 医療的ケアが理由で受け入れ先がない |
| 4 | どのようなサービスがあるかわからないから | 9 | その他() |
| 5 | 利用の仕方がわからないから | 10 | わからない |

【すべての方におたずねします。】

問 40 次のサービスの中で、今後も引き続き利用したい、あるいは新たに利用したいと思うサービスはありますか。(○はいくつでも)

1 ホームヘルプなどの訪問系サービス	} → 問 41 へ進む
2 訪問看護などの医療系サービス	
3 短期入所(ショートステイ)・緊急一時保護	
4 補装具費の支給・修理	
5 日常生活用具の給付・レンタル	
6 住宅設備改善費の給付	
7 福祉タクシー券の交付、自動車燃料費の助成等	
8 移動支援・同行援護	
9 訪問入浴サービスなどの入浴サービス	} → 問 40-3 へ進む
10 グループホームなどの居住系サービス	
11 日中一時支援	} → 問 41 へ進む
12 手話通訳者・要約筆記者の派遣	
13 介護保険のサービス	
14 その他()	
15 1~13 の中に利用したいサービスはない	

【問 40-1、問 40-2 は、問 40 で「9 訪問入浴などの入浴サービス」と回答した方におたずねします。】

→ 問 40-1 必要だと思う入浴サービスは次のうちどれですか。(○はいくつでも)

1 ヘルパーを利用して自宅の浴室での入浴
2 訪問入浴サービスによる入浴
3 福祉施設等での機械浴や介助浴
4 ヘルパー等の介助者との公衆浴場などでの入浴
5 その他()

問 40-2 身近な福祉施設で機械浴などのバリアフリー設備がある入浴設備を利用できる場合、あなたは利用したいと思いますか。(○はいくつでも)

1 ヘルパー等の介助があれば利用したい
2 送迎があれば利用したい
3 家族・知人の介助があれば利用したい
4 利用したくない
5 その他()

【問 40 で「10 グループホームなどの居住系サービス」と回答した方におたずねします。】

問 40-3 グループホームを利用するとき、必要なことはどのようなことですか。

(○はいくつでも)

1 練馬区内にあること
2 家族がいる場所に近いこと
3 日中活動している場所や通院先に近いこと
4 グループホームの中で日中活動ができること
5 主に夜間や休日、グループホームの職員が相談や介護を行うこと
6 主に夜間や休日、グループホームの職員以外のヘルパーが相談や介護を行うこと
7 その他()
8 わからない

【すべての方におたずねします。】

問 41 サービスを利用しやすくするためには、どのようなことが必要だと思いますか。

改善が必要だと思うサービスの名前と必要だと思うことをお書きください。

改善が必要なサービスの名前	必要だと思うこと
	→
	→
	→

問 42 今あるサービス以外で、どんなサービスや施策が必要だと思いますか。(自由記入)

--

【問 43 は、40 歳以上の方におたずねします。】

問 43 あなたは、介護保険のサービスを利用していますか。(○はいくつでも)

1 訪問介護(ホームヘルプ)を利用している
2 通所介護(デイサービス)を利用している
3 短期入所(ショートステイ)を利用している
4 その他()
5 介護保険サービスは利用していない →問 46 へ進む

【問 44、問 45 は、介護保険サービスを利用している方におたずねします。】

問 44 あなたの要介護度をお答えください。(○は1つ)

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1 総合事業対象者(要支援を除く) | 6 要介護3 |
| 2 要支援1 | 7 要介護4 |
| 3 要支援2 | 8 要介護5 |
| 4 要介護1 | 9 わからない |
| 5 要介護2 | 10 要介護認定を受けていない |

問 45 障害福祉サービスと介護保険サービスの両方のサービスを利用して、何か困っていることはありますか。(○はいくつでも)

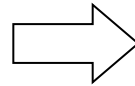
- | | |
|---|---|
| 1 サービスの支給量が減ってしまった | |
| 2 同じサービス提供事業所を利用し続けることができず、介護保険事業所に変更することになった | |
| 3 利用者自己負担が増えた | |
| 4 障害福祉サービスの上乗せの相談手続きが難しかった | |
| 5 介護保険サービスでは障害特性を理解した対応が受けられなくなった | |
| 6 その他(|) |
| 7 障害福祉サービスは利用していない(介護保険サービスのみ利用) | |
| 8 特に困っていることはない | |

【すべての方におたずねします。】

問 46 あなたは、5年後・10年後・20年後に、それぞれどのような暮らし方を希望しますか。
第1希望・第2希望について、右の枠に項目の番号を記入してください。

[5年後] についてお答えください。

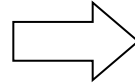
- | | |
|---|---------------|
| 1 | ひとりで暮らしたい |
| 2 | 家族と一緒に暮らしたい |
| 3 | グループホームで暮らしたい |
| 4 | 施設に入所して暮らしたい |
| 5 | その他() |
| 6 | わからない |



第1希望	第2希望

[10年後] についてお答えください。

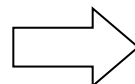
- | | |
|---|---------------|
| 1 | ひとりで暮らしたい |
| 2 | 家族と一緒に暮らしたい |
| 3 | グループホームで暮らしたい |
| 4 | 施設に入所して暮らしたい |
| 5 | その他() |
| 6 | わからない |



第1希望	第2希望

[20年後] についてお答えください。

- | | |
|---|---------------|
| 1 | ひとりで暮らしたい |
| 2 | 家族と一緒に暮らしたい |
| 3 | グループホームで暮らしたい |
| 4 | 施設に入所して暮らしたい |
| 5 | その他() |
| 6 | わからない |



第1希望	第2希望

【問 47 は、問 46 で、5年後、10 年後、20 年後のいずれかで「1 ひとりで暮らしたい」「3 グループホームで暮らしたい」と回答した方におたずねします。】

問 47 ひとりで暮らすこと、グループホームで暮らすことへの不安や心配なことはありますか。

(○はいくつでも)

1 障害を理由に入居を断られること	8 夜間や緊急時のサポート体制
2 家賃の負担	9 家族と離れて暮らすこと
3 バリアフリーに対応していない物件での生活	10 地域住民の障害への理解不足
4 体調が悪くなったときの対応	11 制度やサービスについてよくわからない
5 金銭管理や生活費のやりくり	12 その他
6 食事や掃除、洗濯などの家事	()
7 人間関係や他の入居者とのトラブル	13 わからない

問 48 今後も練馬区に住み続けたいと思いますか。(○は1つ)

1 住み続けたい	2 区外に移転したい	3 わからない
----------	------------	---------

問 49 問 48 のように答えた理由は何ですか。(自由記入)

■ 災害対策について ■

問 50 あなたは、最寄りの避難拠点※（区立小中学校）の場所をご存じですか。（○は1つ）

※練馬区では、災害時に自宅で生活することができない場合の避難場所として、全区立小中学校を指定しており、避難拠点と呼んでいます。なお、避難拠点は居住地による指定はありません。お住まいの地域にかかわらず避難ができます。

1 知っている

2 知らない →問 51 へ進む

【問 50 で「1 知っている」と回答した方におたずねします。】

問 50-1 あなたは、災害時にその避難拠点まで自力で避難することができますか。（○は1つ）

1 できると思う

2 できないと思う

3 その他()

【すべての方におたずねします。】

問 51 災害に備えて、または災害時に、どのような対策が必要だと思いますか。

(○はいくつでも)

1 避難しやすい避難所を整備する

2 難病患者の方にも防災訓練等に参加するように促す

3 日頃から避難方法のアドバイスや情報提供を行う

4 緊急通報システムを整備する

5 避難時の支援体制、地域で助け合える体制を整備する

6 避難時に障害者用設備(トイレ、ベッドなど)を配置する

7 避難時に人工透析や人工呼吸器、在宅酸素など生命安全・維持装置を確保する

8 避難時において難病患者の方に配慮した情報提供を行う

9 避難時の介助人などを確保する

10 福祉避難所に直接避難できるようにする

11 避難所での手話通訳者、ガイドヘルパーなどを確保する

12 避難所で補装具等の貸出しを行う

13 その他()

14 特にない

■ 権利擁護について ■

問 52 難病を理由として、差別や人権侵害を受けていると感じることがありますか。（○は1つ）

1 いつも感じる

3 ほとんど感じることはない

2 たまに感じる

4 わからない

問53 地域で暮らす上で、難病に対して理解を得られていると感じますか。(○は1つ)

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1 十分得られていると感じる | 4 まったく得られていないと感じる |
| 2 時々得られていないと感じる | 5 わからない |
| 3 あまり得られていないと感じる | |

問54 あなたは、難病および難病患者の方への区民の理解を深めるためには、何が重要だと思いますか。(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------------------------|--|
| 1 難病への理解を深めるための広報・啓発を充実する | |
| 2 ボランティア活動や難病理解を深める活動をしている団体を支援する | |
| 3 難病患者の方との交流を通じた難病理解の機会を増やす | |
| 4 学校における福祉教育・人権教育を充実する | |
| 5 難病患者の方の社会参加のための支援を充実する | |
| 6 福祉施設が地域住民との交流を進める | |
| 7 難病患者の方自らが、積極的に地域活動に参加する | |
| 8 難病患者の方自らが、必要な手助け等を周囲に伝える | |
| 9 その他() | |
| 10 わからない | |
| 11 特にない | |

問55 あなたは、今まで周囲に対して「合理的配慮」を求めたことがありますか。(○は1つ)

合理的配慮とは、障害のある方が、必要な配慮や手助けについて意思を伝えたとき、役所や会社・お店などが、負担が重すぎない範囲で対応することをいいます。

《合理的配慮の具体例》

- 書類を記入するとき、代わりに書くことに問題がない場合は、その人の意思を十分に確認しながら代わりに書く。
- 絵や写真のカードやタブレット端末などを使い、障害特性に合った方法で説明する。
- 段差がある場合に、携帯のスロープなどを使って補助する。

- | |
|---|
| 1 ある →問56へ進む |
| 2 ない |
| 3 その他() →問56へ進む |

【問55で「2 ない」と回答した方におたずねします。】

問55-1 「合理的配慮」を求めたことがないのはどのような理由からですか。

(○はいくつでも)

- | | |
|------------------------------------|--|
| 1 合理的配慮を必要とする場面・機会にあつたことがない | |
| 2 そのときには、合理的配慮を求めることを思いつかなかつた | |
| 3 合理的配慮を求めたかつたが、周囲のことを考えて遠慮してしまつた | |
| 4 合理的配慮を求めたかつたが、配慮を求めることを言い出しにくかつた | |
| 5 合理的配慮について知らなかつた | |
| 6 その他() | |

【すべての方におたずねします。】

問 56 あなたは、成年後見制度を知っていますか。(○は1つ)

※成年後見制度とは、自分で十分な判断ができない人のために、後見人等を選任して本人の意思決定を助け、生活や財産などの権利を守る制度です。選ばれた後見人等は、本人の意思を尊重し、心身の状態に配慮しながら必要な代理行為を行い、財産を適正に管理します。練馬区では、練馬区社会福祉協議会の権利擁護センター「ほっとサポートねりま」を成年後見制度の推進機関と位置づけています。

1 知っている

2 知らない

問 57 あなたは、今後の状況によって成年後見制度を利用しますか(利用する予定ですか)。

(○は1つ)

- | | |
|--------------|-------------|
| 1 現在利用している | } →問 58 へ進む |
| 2 今後利用したい | |
| 3 利用したいと思わない | |
| 4 わからない | →問 58 へ進む |

【問 57 で「3 利用したいと思わない」と回答した方におたずねします。】

問 57-1 成年後見制度を利用しない(したくない)理由は何ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1 手続きが難しい | 5 十分な支援が受けられるかわからない |
| 2 費用負担が大きい | 6 その他 |
| 3 後見人が選任されるまでに時間がかかる | () |
| 4 制度のしくみがよくわからない | 7 必要がない |

【すべての方におたずねします。】

問 58 今後、障害者施策を充実させるためには、どのようなことが必要だと思いますか。

(○はいくつでも)

- 1 障害の早期発見・早期療育に努めること
- 2 障害のある方とない方の交流を進め、相互理解を深めること
- 3 障害のある子どもそれぞれの状況や発達に応じた教育を進めること
- 4 障害のある方の働く場の確保や働き続けるための支援を充実すること
- 5 ホームヘルパーの派遣など在宅生活支援サービスを充実すること
- 6 区内で利用できる施設を整備すること
- 7 障害者や高齢者にやさしいまちづくりを進めること
- 8 障害のある方の住まいとしてグループホームを整備すること
- 9 公営住宅や民間住宅など住まいを確保するための支援を充実すること
- 10 文化芸術、スポーツ、レクリエーション活動に参加できるよう支援すること
- 11 障害のある当事者による活動を支援すること
- 12 ボランティア活動を充実すること
- 13 障害者施策や福祉に関する情報提供を充実すること
- 14 相談体制を充実し、適切な支援をすること
- 15 サービスの利用手続きをしやすくするため、受付窓口を充実すること
- 16 当事者のみでなく、家族を支える支援を充実すること
- 17 その他()
- 18 特にない

最後に、この調査を通じて選択肢や自由記入欄だけでは表現しきれなかったことや、ご意見・ご要望、次期計画に盛り込みたいことなどがありましたら、自由にお書きください。

【18 歳未満の方におたずねします】 ※お子さん本人が回答できる場合のみ、回答してください。
あなたは、今どのようなことをしたいかなど、文でも絵でもよいので、思っていることを自由に書いてください。

調査にご協力いただき誠にありがとうございました。

「あて名の方ご本人」へのおたずねは以上です。

記入もれがないかももう一度お確かめのうえ、同封の返信用封筒(切手は不要です)に入れて、2月10日(火)までにお近くのポストに投函してください。

もし、差し支えなければ、ふだんあて名の方ご本人を主に介助・援助されている方のご意向もお聞かせください。

このページは、ふだん「あて名の方ご本人」を介助・援助しているご家族の方がお答えください。

■ 介助・援助者の意向 ■

問 59 あて名の方ご本人を主に介助・援助する方の性別・ご年齢・続柄について、当てはまるものにそれぞれ教えてください。(○はそれぞれ1つ)

なお、回答しにくいと感じる場合は、回答いただかなくて結構です。

性別 (○は1つ)	1 男性	2 女性	3 ()
年齢 (○は1つ)	1 20歳未満		5 50歳代
	2 20歳代		6 60歳代
	3 30歳代		7 70歳代
	4 40歳代		8 80歳以上
続柄 (○は1つ)	1 夫		7 子の妻
	2 妻		8 父
	3 パートナー(事実婚を含む)		9 母
	4 息子		10 兄弟
	5 娘		11 孫
	6 子の夫		12 その他()

問 60 あなたの現在の健康状態はいかがですか。(○は1つ)

1 よい	3 ふつう	5 よくない
2 まあよい	4 あまりよくない	

問 61 あなたの就労・就学状況を教えてください。(○は1つ)

1 正規社員	} →問 61-1 へ進む	4 学生 →問 62 へ進む
2 非正規社員		5 無職 →問 61-1 へ進む
3 パート・アルバイト		6 その他()

【問 61-1 は、問 61 で「4 学生」以外と回答した方におたずねします。】

問 61-1 あなたの今後の就労意向を教えてください。(○は1つ)

1 現在と同様の形で働きたい	4 パート・アルバイトとして働きたい
2 正規社員として働きたい	5 わからない
3 非正規社員として働きたい	6 働きたくない

問 62 あて名の方ご本人を介助・援助するにあたって、困っていることはありますか。

(○はいくつでも)

- | | |
|---------------------|------------------------|
| 1 介助・援助の方法がわからない | 11 孤独感がある |
| 2 福祉サービス等の情報が不足している | 12 精神的な負担が大きい |
| 3 福祉サービス等が十分に利用できない | 13 経済的な負担が大きい |
| 4 余暇など自分の時間が持てない | 14 他にも介助の必要な家族・親族がいる |
| 5 ちょっとした外出ができない | 15 他の家族の援助が足りない |
| 6 仕事に出られない | 16 隣近所の人との関係づくりが難しい |
| 7 長期的な外出ができない | 17 何かの際に相談や介助を頼める人がいない |
| 8 睡眠不足である | 18 その他() |
| 9 身体的な負担が大きい | 19 特にない |
| 10 年齢的に負担が大きい | |

問 63 現在、あて名の方ご本人以外に、他の方の介護や子育て等をしていますか。

(○は1つ)

- | | |
|--------|-------------------|
| 1 している | 2 していない →問 64 へ進む |
|--------|-------------------|

→【問 63-1、問 63-2 は、問 63 で「1 している」と回答した方におたずねします。】

問 63-1 あて名の方ご本人からみて、その方はどのような関係にあたりますか。

(○はいくつでも)

- | | | |
|---------|---------|-------|
| 1 兄弟・姉妹 | 3 祖父・祖母 | 5 その他 |
| 2 父・母 | 4 子 | () |

問 63-2 その方が介助・援助を必要とするのはどのような理由からですか。(○はいくつでも)

- | | |
|---------|----------|
| 1 病気のため | 4 育児中のため |
| 2 障害のため | 5 その他 |
| 3 高齢のため | () |

問 64 家族等支援として、区に充実してほしい施策は何ですか。(〇はいくつでも)

- 1 区からの情報提供を増やす
- 2 家族等の休養目的のショートステイや一時預かりを充実させる
- 3 家族等に対する相談体制を充実させる
- 4 難病患者の方の理解や適切な対応をするための知識・方法を学ぶ家族向けプログラムを実施する
- 5 家族同士の交流や情報交換の場・機会をつくる
- 6 その他()
- 7 特にない

最後に、練馬区の障害者施策などについて、ご意見・ご要望がございましたら、自由にお書きください。

調査にご協力いただき誠にありがとうございました。

記入もれがないかもう一度お確かめのうえ、同封の返信用封筒(切手は不要です)に入れて、2月10日(火)までにお近くのポストに投函してください。